

2007年 11月 26日

リチウムイオン二次電池用セパレータの本格事業化について

住友化学は、このほど、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ペルヴィオ」について、一段の設備増強を行い、エネルギー関連事業分野の基幹製品として本格的に事業展開を進めていくことといたしました。住友化学は、同セパレータの製造設備を2006年8月に完成させ既に供給を開始しておりますが、高性能に対する高い評価から急速に増えつつある供給要望に対応するため、このたび本格的な設備増強を行うことにしたものです。

リチウムイオン二次電池は、携帯電話、ノートパソコン、小型デジタル機器などの機能拡大やモバイル化の進展に加えて、ハイブリッド自動車など大型電源用途としても期待されており、今後も需要の大幅な拡大が見込まれています。機能面では、長時間使用に耐えうる高容量化が強く要求され、また安全性向上が社会的使命となっていることから、より信頼性を高める技術の開発が求められています。

住友化学は、長年培ってきた有機合成技術、ポリマー成形加工技術を生かし、ポリオレフィン基材とアラミド耐熱層を組み合わせた独自技術により耐熱性に優れたセパレータを開発、他に先駆けて実用化・販売しています。「ペルヴィオ」は、同電池の信頼性向上に応えうる製品として需要家から高い評価を得ています。

こうした需要家の幅広い期待に早期に対応するため、2008年年央から2009年年初にかけ段階的に設備能力を増強していきます。増強にあたっては、これまで得た知見と最新技術を織り込み、性能・品質をより一層向上させます。完成後の生産能力は既存系列と合わせ2008年年央約1,200万 m^2 /年、2008年年末1,600万 m^2 /年とする計画で、2009年には各系列の生産能力向上により2,500万 m^2 /年とする予定です。また、需要動向を見極めながら、さらなる生産能力の拡大も検討してまいります。

住友化学は、エネルギー事業分野を、これまで培ってきた化学技術により環境問題の解決に貢献できる重要分野の一つと位置付け、研究開発・事業化に注力しています。今後は、耐熱セパレータのほか、正極材等のリチウムイオン電池部材、燃料電池用部材等を、順次事業化していく予定です。

【増強後の設備能力】

1. 設備能力: 2008年 年央 1,200万 m^2 /年
 2008年 年末 1,600万 m^2 /年
 2009年 年央 2,500万 m^2 /年
2. 生産拠点: 住友化学 愛媛工場

以上